

7-3 生産性向上推進特別本部

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

協会をあげて取り組むべき課題に対する包括的活動を目的として「生産性向上推進特別本部」を設置し、会員企業へのBIM/CIMの普及・促進及びi-Construction全般に関する諸活動を継続する。

活動計画の実施は、技術部会 統括技術委員会傘下の生産性向上WGが担当する。

国土交通省は、2012年に建設業務の効率化を目的としたCIMの活用に向けた提言に始まり、現在では、建設事業全体の生産性向上を図る仕組みとしてi-Construction（建設生産性改革）を推進しており、2025年には建設事業全体の生産性20%向上を目標として掲げている。

また、これに先駆け2023年には建設事業におけるDX推進として、BIM/CIMの原則適用に向けた活用促進をさらに強化している。

当協会においては、関連する技術委員会等への協力のもと、要領基準類の整備支援やBIM/CIMモデル事業や監理業務等を通じて、活用促進における課題抽出や対応すべき方策、新たな契約体系に向けた提言などの取組みを推進する。

a) BIM/CIMにかかる対外活動及び協会内での情報共有

b) ICTの試行・導入支援

c) BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育、情報共有の促進

(2) BIM/CIM関連の対外活動推進

・国土交通省「BIM/CIM推進委員会」(R3/3/2)への参加と関連4WG(延べ回/年)への委員派遣により技術的課題解決のための検討を実施した。

・BIM/CIM事例の収集・分析と事例の共有では、コンプライアンスに配慮し、直接的な個別事例の紹介を避け、国交省各地整等のHP(ポータルサイト)掲載事例を共有した。

(3) BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育、情報共有の促進

・講習会の開催(ICT委員会の主催)による情報共有の促進。今年度はコロナ禍により、CIMハンズオンセミナー、GIS講習会は中止。ICTセミナーは、年度末現在WEB配信中である。

・各支部ICT担当との情報共有及び技術協力(随時実施:関東支部の東京都ICT工事の推進等)

(4) 生産性向上推進特別本部では、令和2年度WG活動状況及び次年度計画等を共有。

(5) 各種団体(橋建協、測技協等)との意見交換について実施報告を受け、調査、設計、施工の各段階間でのデータ連携(DX対応)における課題等を共有した。

なお、以上の成果は、「地方ブロック意見交換会(要望と提案)」及び「未来塾」資料に反映している。

2. 次年度の活動

国土交通省と各種委員会等を通じて連携し、i-Constructionの推進及びBIM/CIM活用、DX推進に向けてICTの積極的な導入および情報共有を継続する。

次年度の活動計画は次のとおりである。

・生産性向上WGとの情報共有(DCB)

・BIM/CIM推進委員会への参加及び関連WGへの委員派遣(随時)

・建設系関係諸団体等との意見交換(随時)

・BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育及び情報共有の促進(関連委員会の主催)

(生産性向上推進特別本部本部長

高野 登)

(生産性向上推進特別本部委員

兼 統括技術委員会生産性向上WG長

加藤 雅彦)